

平成25年度第1回成田市地域公共交通会議の概要

1 開催日時

平成25年8月5日(月) 午後3時～午後4時12分

2 開催場所

成田市花崎町760番地
成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

(委員) 22人

藤崎会長、一色副会長、宮崎委員、宮田委員、岩澤委員、阿波寄委員、
渡邊委員、伊藤委員、遠藤委員、山田委員、玉井委員、
鶴澤委員(代理 梅田)、角谷委員、石井委員、成毛委員、
高中委員(代理 飯田)、池田委員(代理 池田)、新藤委員、
今村委員(代理 山崎)、金崎委員、諸岡委員、深山委員

(事務局)

交通防犯課 石井主幹、山倉副主査
高齢者福祉課 伊藤課長、神崎副主査

4 協議事項

- (1) オンデマンド交通実証実験の報告について
- (2) その他

5 会議の概要

任期更新後、初の会議であることから、設置要綱の規定により会長に藤崎委員、副会長に一色委員を選出した。

なお、協議事項の概要は次のとおり。

議長： 協議事項(1) オンデマンド交通実証実験の報告について、高齢者福祉課より報告をお願いします。

高齢者福祉課： 成田市オンデマンド交通につきましては、高齢者の移動手段の確保を目的に、平成23年12月5日より市内の4地区を実験エリアとして実証実験運行を開始しました。さらに本年4月1日からは、運行範囲を市内全域に拡大しております。その内容は、運行範囲は成田市内全域、運賃は1人1回500円、運行時間は祝日・年末年始を除く月曜日から金曜日の午前7時30分から午後5時30分としております。使用する車両

はセダン型タクシー7台を使用し、完全登録予約制の乗り合いタクシーの実証実験を行うというものです。

それでは、お手元の資料、「成田市オンデマンド交通実証実験の報告について」をご覧ください。オンデマンド交通につきましては、高齢者の移動手段の確保を目的に、70歳以上の方を対象として、平成23年12月5日より、中郷・久住・豊住・下総の市内4地区を実験エリアとし、実証実験運行を開始しました。さらに、本年4月1日からはエリアを市内全域に拡大して実験運行を行っております。

まず、①の利用登録者の状況、6月末日現在ですが、登録者数が1,470名となっております。男性が424名、女性が1,046名。年齢別では75歳から79歳が一番多くて483名となっております。地区別では、中郷・久住・豊住・下総の4地区が合計803名となっております。また、運行拡大を行った成田・公津・八生・遠山・NT・大栄の6地区では667名となっております。

②の乗降場の設定状況につきましては、6月末日現在で、合計671カ所、中郷地区をはじめとする4地区が295カ所、成田・公津地区をはじめとする6地区が376カ所となっております。

③の運行利用状況につきましては、月曜日から金曜日までの午前7時30分から午後5時30分まで、運行台数は7台としております。

まず、延べ利用件数につきましては、4月が865件、5月が1,026件、6月が1,141件。また、1日平均につきましては、4月が41.2名、5月が48.9名、6月が57.1名となっております。

字別利用回数につきましては、4月につきましては1位が成井の46回、2位が北羽鳥の44回、3位が南羽鳥の41回で、5月は1位が北羽鳥、2位が長沼、6月は1位が北羽鳥、2位が南羽鳥、以下ご覧のとおりとなっております。

各月の字名網掛けの部分につきましては、市内全域に運行拡大した地区を示しております。3の行き先上位ですけれども、4月、5月、6月とも成田赤十字病院、成田病院、ジャスコイオン成田店が上位となっております。

3ページをごらんください。こちらは時間帯別利用件数をグラフであらわしたものです。件数が多い主な行き先としましては、9時台で成田赤十字病院、成田病院、また、13時台では、成田病院、ジャスコイオン成田店、成田赤十字病院となっております。

最後に、4ページをごらんください。こちらは70歳以上人口と登録者数を地区別にまとめたものでございます。市内全体の70歳以上合計16,864名中、1,470名の方が登録されております。地区別に見ますと、一番高いのは豊住地区の32.6%、反対に低い地区は公津地区の3.7%となっております。これは、成田・公津地区など6地区に比べ、中郷・豊

住地区など4地区は1年4か月間先行している実績があるため、4月から運行拡大した地区との差があるもので、今後、この差は登録者数が上昇するとともに縮小するものと見込んでおります。

今後も、広報なりた、市のホームページ、公共施設でのパンフレットの配布をはじめ、高齢者クラブ連合会を通じたピーアール活動、地区社会福祉協議会での案内、その他自治会などの要請による説明会を行い登録者の拡大に努めてまいります。

以上で、成田市オンデマンド交通実証実験の報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議長： ただいまの報告について、ご質問・ご意見のある方は挙手のうえ発言をお願いします。

委員： 大栄地区に「吉岡第3ニュータウン公園」という乗降場がありますが、公園は団地内に3つあるため、地域においても一般的な名称である「第2公園」と称してもらえるとわかりやすいと思います。

高齢者福祉課： 了解しました。

委員： デマンド交通において、運転手が乗降場の場所を把握できない事がある。例えば、「小林住宅入口丁字路」という乗降場があるが、“小林住宅”と呼ばれる対象は複数あるため、現地で混乱する事があった。

高齢者福祉課： ここは地域より増設要望により設置したもので、地元の方々が理解しやすいよう、その地元における通称を用いて名称を設定しました。車載システムの画面で乗降場が指示されるようになっています。

委員： それでもわからず、非常に時間がかかったとのこと。乗降場名が分かりづらく、目標物も無いと非常に困る。

高齢者福祉課： 近くに住宅がある場合は“〇〇宅前”などと表示できるが、現地は目立った目標物が無い。場所を明確に特定できるよう、理解しやすい表示を検討したい。

委員： 運行している事を周知するため、車体の外見を明確にしてピーアールを図れないか。

高齢者福祉課： 運行を請け負う業者がローテーションするため、ラッピングなどで対応することが難しい。現在はマグネット表示を貼り付けること

で表示をしている。

委員： マグネットの大きさはどれぐらいですか。

高齢者福祉課： ドアの側面に貼れるぐらい（約50cm）の大きさです。

委員： 広報により公民館・地区会館にパンフレットがあるとの事を知ったが、美郷台地区会館に置いてあった案内冊子が3月12日現在のもので、乗降場所が最新のものでなかったが。

福祉部長： 広報等により周知したときは、少なくともその時点での新しいものに差し替えるよう努めます。

委員： デマンド交通の乗合発生状況はどのぐらいですか。

高齢者福祉課： 4月が1.19、5月は1.17、6月が1.23となっています。

委員： ほとんどが一人で乗られている状況です。一人での乗車だと効率が悪く、コストが非常に大きいので、この乗合率をいかに向上させるのが今後の課題だと思われる。

委員： 市内ではいわゆる交通不便地域と呼ばれる地域での利用が多いため、都市部とは違い、乗合は難しい状況ではないか。

高齢者福祉課： この4月から市内全域運行となり、台数が増えたために乗合率が低くなっているという面もある。まだ全市に拡大してから数カ月であるため、制度が浸透するのにもうすこし時間が必要かと思われる。

委員： 現在は実証実験中とのことだが、利用率の目標はどの程度を目標としているのか。

高齢者福祉課： 現在はセダン7台で1日144件の利用ができることとなっている。データによると9時台の利用が多いが、その他の時間帯では利用が少ないため、平均で見ると低い数値となっている。全体の乗合率を上げるには、利用の少ない時間帯の便を削るなどの検討も必要と思われる。

委員： 利用者の登録率が全体的に低いようだが。

高齢者福祉課： 以前から運行している4地区においては20%以上だが、全体

としては8.7%となっている。

委員： 敬老会のイベント等でピーアールしてみてもどうか。

高齢者福祉課： 検討したい。

議長： 続きまして、協議事項の（2）その他について、事務局から何かございますか。

交通防犯課： コミュニティバスの運行状況の報告をさせていただきます。

お手元の資料の中で、3つ折りで右上に“資料1”とあるものをご覧ください。「コミュニティバス路線図」としまして、コミュニティバスの各路線を地図上で示したもので、各ルートを色分けして示しております。成田市コミュニティバスは現在7ルート8路線で運行しており、各地域から成田駅や日赤病院、保健福祉館などの公共施設への足として、往復運行を基本としているところですが、図面の上の方、紫色で示してあります「しもふさ循環ルート」については、旧下総町の区域を循環しまして、滑河駅への足となるよう運行しているところでございます。図面左下の成田市役所や日赤、福祉館の区間は赤色で示してありますが、こちらは各ルート共通の経路となっております。別綴りでルートごとの時刻表もお配りしてありますので、こちらの方は後ほど併せてご確認くださいだけだと思います。

続きまして、“コミュニティバス各路線の運用状況”をご覧ください。こちらは過去5年分の成田市コミュニティバスの運行経費と収入、利用者数をまとめたものでございます。このうち乗車人数の項目については、下の方にグラフで表しております。グラフの内容を見ますと、左から2番目の大室・小泉ルートが平成23年度に大きく減っておりますが、こちらは小学校の統廃合の関係で久住第2小と中郷小の児童の利用がなくなった事によるものです。全体的な推移としましては、時刻やルート変更などの運行改善に伴いまして、徐々に利用者数が増加している状況です。

以上で説明を終わります。

議長： ただいま交通防犯課よりコミュニティバスの運行状況の報告がありましたが、ご質問・ご意見のある方は挙手のうえ発言をお願いします。

委員： 下総方面において、水掛ルートの運転手に関する苦情が寄せられた。バス停に到着するのが少しでも遅れると止まってくれないなど、運転手によっては大変厳しい人がいるとの事。足の悪い人等もいるので、もう

少し心遣いをお願いしたい。

委員： “手を挙げてもしまらない”などの事態がもしあれば、すぐに営業所にご連絡いただきたい。コミュニティバスに係る運転手全体に周知し、再発防止のためしっかり指導するので、ご意見があれば遠慮なくご連絡いただきたい。コミュニティバスを運転する際には、「市民の一員になったつもり」で運行するよう指導していますが、目の届かない場合もあるため、何かあった時にはどんどん指摘くださるようお願いいたします。

委員： 融通のきく運転手がいい運転手とされる傾向があるが、問題もある。一定のルールに則って運行しないと、融通に際限が無くなったり、後の苦情に繋がったりする恐れがある。また、ルール通りに運行する運転手がいわゆる“悪い運転手”とされる事もある。

議長： 他にないようですので、以上で協議事項を終了させていただきます。
以上をもちまして、平成 25 年度第 1 回成田市地域公共交通会議を閉会します。

6 傍聴

(1)傍聴者 3人